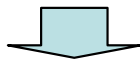


日・豪社会保障協定

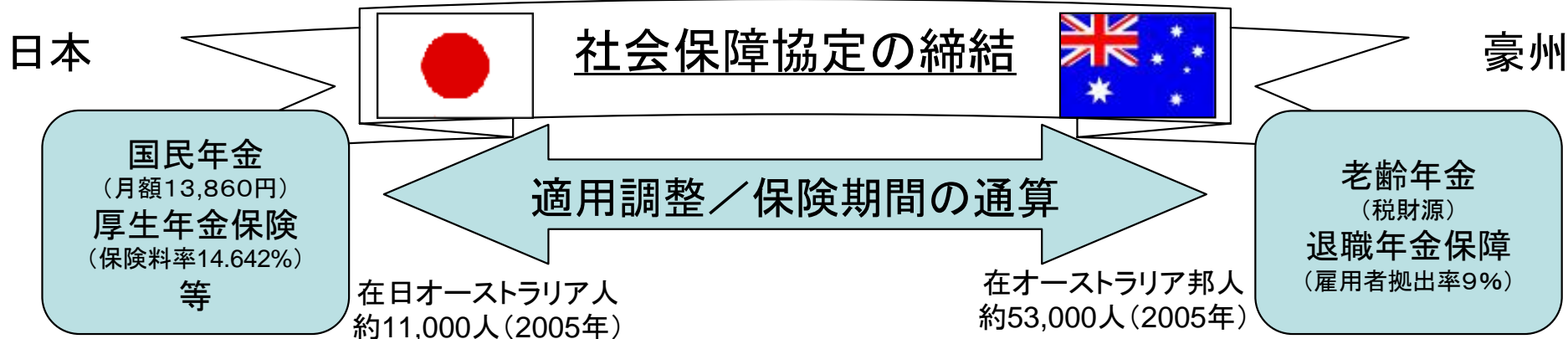
●企業等から相手国に一時的に派遣される駐在員等は、日豪両国の年金制度に強制加入となる。

①日豪両国の年金制度の保険料の支払い。→**二重加入の問題**

②派遣期間が短いため年金の受給に必要な期間を満たさないため、年金を受給できない。→**保険料掛け捨ての問題**

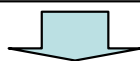


企業・駐在員等の双方に大きな負担 → 両国の中の人的交流及び経済交流の増進にマイナスの影響



●原則として就労地国の年金制度にのみ強制加入し、派遣期間が5年以内の駐在員等については派遣元国の年金制度にのみ強制加入することを基本 → 二重加入の問題の解消

●両国での保険期間を通算して、それぞれの国における年金の受給権を確立。→保険料掛け捨て問題の解消



企業・駐在員等の双方の負担の軽減 → 両国の中の人的交流及び経済交流の一層の促進



我が国の負担軽減効果
年間約9億円(厚生労働省試算)

☆社会保障協定締結済みの国又は締結準備中の国

ドイツ・英国・韓国・米国・ベルギー・フランス・カナダ
(フランス・カナダは締結準備中)

☆交渉中・当局間協議中の国 オランダ・チェコ・スペイン